



わあ～

市内の取材先で、嬉しい話や、ちょっと困った話など：たくさん興味深いお話が聞けました。



「放棄田を借りて花畑にしています。植えた花はジャーマンアイリスやパンジーなど会員がそれぞれの好みで植え続け、100種類は植えていると思います。近くに病院があるので、多くの人が見てくれるので、すよ。部屋から見れるので、癒しになっているのでは？」と

「苦労している点は、経費です。ボランティアでやっているのですが、消毒代や肥料代など周りの人に分らない費用がたたくさんかかります。この前は松の幹に大きな蟻の巣ができて、駆除に苦労しました。」

「私たちのスペースは道路沿いにあるので、『いつもきれいでいいことですね。女手ですが、大工仕事も一人でごなします。足元にある石畳も知り合いかから、いらぬ石材をもらってきて自分で配置したんですよ。看板も発泡スチロールを切り取って作ったわりにはきれいにできてるでしょう?』と満足げに話していました。」



めだか→



取材にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

花の力に癒されて まちで見かけた素敵な花づくり

花いっぱいの淡路島はガーデニングやボランティアでの花づくり活動が盛んです。4月から行われていた「第8回あわじオープンガーデン」には、市内27の個人・グループが参加。緑に包まれ花を眺めつつ、ご自慢のガーデンを取材してきました。



晴れ渡った青い空
雲一つない快晴の中、太陽に照らされた色とりどりの草花が、訪れた人々を笑顔で出迎えました。

オープンガーデン開催日は天候に恵まれ、風も少なく穏やかなぼかぼか日和でした。庭や公園に、様々な草花を見事に咲かせたオーナーの話を聞いていると、身近に咲いているものから、ちょっとめずらしいものまで：本当にたくさん草花を観ることができました。

しかし、輝いていたのは草花だけではありません。草花に囲まれた人たちは、みなさんにこの自然に笑顔になり、色や香りを楽しんでいました。初めて出会った人と、気軽におしゃべりができるのも、そのおかげかもしれませんね。

みなさんの周りの草花を思い出してみてください。このような個人で庭づくりを楽しんでいる人から、広報の他ページでもご紹介していますが、道路沿いや公園など、グループで花づくりに取り組んでいる人まで、たくさんの方が花づくりに関わっていることが分かります。草花を大切に、毎日笑顔で過ごせる、そんな南あわじ市って、とても素敵だと思いませんか?!